

佐賀県内水対策プロジェクト拡大会議

小城市における取組

令和5年6月7日
小城市



令和3年8月の内水被害 (牛津駅周辺、牛津江川流域)

牛津江川

牛津駅



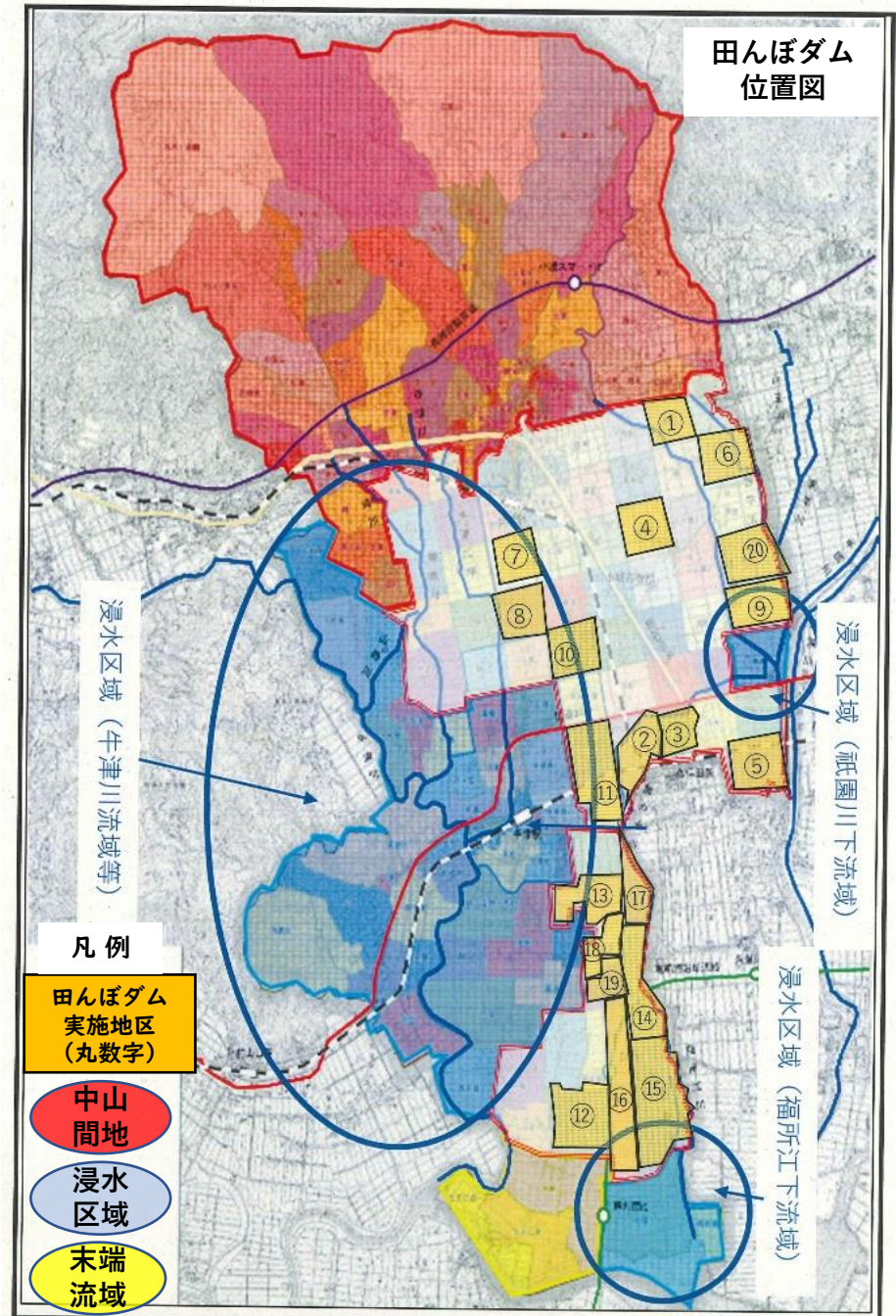
1 田んぼダム事業

事業概要

- 水田の排水口に切り込みの入った堰板を設置し、貯水能力を高め下流域への流出を抑え、浸水被害の軽減を図る。
- 小城市では、令和5年度から**20活動組織、約456ha**の圃場が取り組む。
 $\left[\begin{array}{l} ※456haの水田で取り組んだ場合 \\ 456ha \times 10cm = 45.6万m^3 \\ \Rightarrow 小学校25mプール**1,520杯分**に相当 \end{array} \right]$
- 県が作成した堰板 約2,450枚を6月1日までに配布、設置を依頼。

取組での課題

- 農地選定や堰板設置について、地元の理解や耕作者との合意形成の上で進めていく必要（転作状況も考慮）。
- 畦畔や法面の崩落の懸念箇所、作付け作物の把握や取組への意思統一が難しいなど事前に除外する箇所について、活動組織において把握が必要。
- 県による協力金交付や堰板作成等の措置の継続。
- 事業の影響や効果を周知することで、取組への理解を促進。



【参考】田んぼダムの取組の広報

○「市長と語る会」 (各地区2回開催、5～7月)

- 上流域の水田に水を貯める田んぼダムに令和5年度から取り組んで、クリークの事前落水と合わせて、流域治水につなげていきたい。
- この取組には、農業関係者の方々の協力が必要であり、協力をお願いしたい。

「田んぼダム」等内水対策を積極的に展開
(令和5年～)



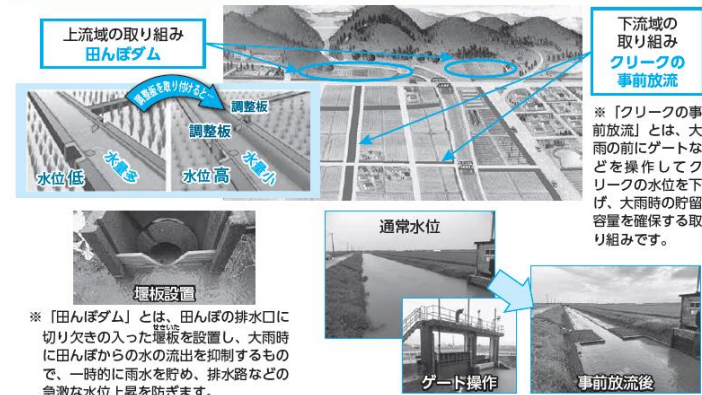
○ 小城市広報「さくら」 令和5年7月号掲載（予定）

- 避難情報（警戒レベル）や避難所のお知らせなどに合わせて、内水対策プロジェクトの取組（佐賀県提供資料）を掲載。
- 河川等モニタリングカメラの活用、堤防決壊等による甚大な被害を回避するためのポンプの運転調整も紹介。

佐賀県 今年も出水期を迎えます

皆さんの協力で浸水被害の軽減に取り組んでいます

田んぼダムは、上流域の農業者の人々のご協力により、下流域の浸水軽減に取り組むものです。下流域の農業者の人々もクリークの事前放流に取り組まれており、地域全体の取り組みが浸水軽減につながっています。



2 内水対策調査事業

事業概要

- 豪雨等により水害が多発する地域において排水対策の検討に向け、湛水エリア及び通水を阻害する要因を把握。
- 牛津川の水位と排水機場の流域地区の内水位の関係について、調査・解析を実施（R5）。
- 調査範囲 1,961.83ha

排水機場の流域	流域面積
上坪 (かみのつぼ) 満神 (まんじん)	949.05ha
前満江 (まえみつえ)	370.78ha
友田 (ともだ)	642.00ha

今後の取組

- 牛津川流域治水対策について、六角川流域治水対策と合わせて、排水機場の運転調整等、国、県、多久市、江北町とも連携した取組や協議が必要。

調査対象流域図 A = 1961.83ha

